

令和5年度 京都大学一般選抜 出題意図等

数 学 (文系)

- ・「出題意図等」とは、出題意図または標準的な解答例のことです。
- ・入学試験問題の満点や配点については、試験問題に記載のとおりです。
- ・各学部における個別学力検査の配点については、一般選抜学生募集要項に記載のとおりです。
- ・標準的な解答例については、ここに示す表記に限るものではありません。
- ・「出題意図等」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

令和 5 年度京都大学一般選抜 出題意図等 数学（文系）

京都大学の個別学力検査「数学（文系）」では、論理性、計算力、数学的な直感、数学的な表現といった数学に関する多様な基礎学力を総合的に評価することを念頭において出題しています。このため論証問題はもちろんのこと、値を求める「求値問題」でも答えに至る論理的な道筋も計れるように出題しています。また証明や論理的な道筋の説明については、必要条件や十分条件に配慮した適切な表現で解答されているかどうかを見るように、出題の形式や問い方を工夫しています。

以上の全体的な出題意図の下で、令和 5 年度の出題では、以下のような観点から出題しています。

文系 1

問 1 確率の計算の基本的な理解と、その計算方法を説明して計算が行なえるかどうかを問うた。

問 2 乗法や因数分解についての公式を具体的な数の計算に活用する理解力と応用力を問うた。

文系 2

空間図形と空間ベクトルに関する基礎的な理解と計算力について問うた。

文系 3

身近な図形に関して、三角関数等を利用して的確な処理ができるかを問うた。

文系 4

階差数列等を利用して数列の一般項を求めることについての理解力を問うた。

文系 5

数学 II で学習する定積分を通して、積分に関する計算力と、整式に関する計算力を問うた。